

子どもたちが資源循環を体感する環境学習を実施します

～役目を終えたプラスチック鉢が熊野筆へ！令和8年度は取組実施校が拡大！～

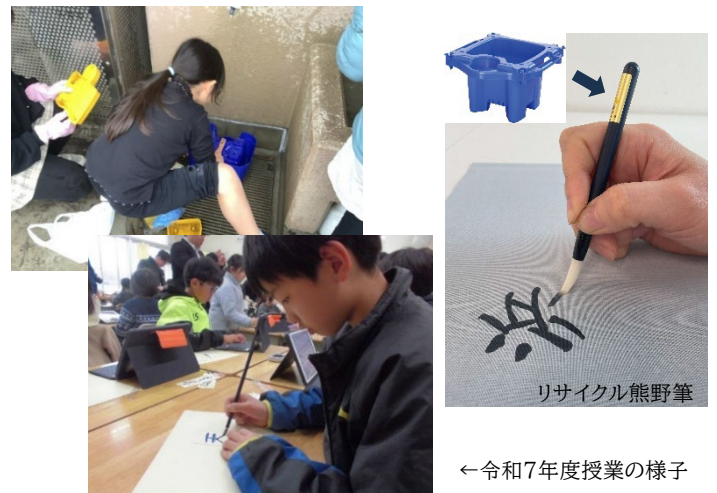
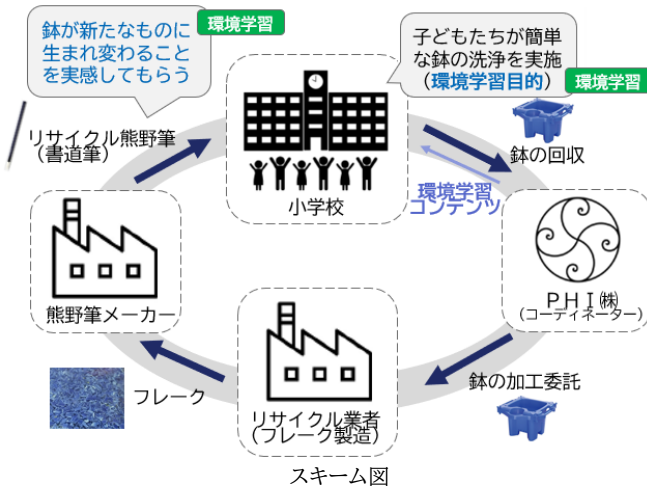
令和7年度、横浜市は PHI 株式会社と連携し、市内小学校において朝顔などの栽培に使用されたプラスチック鉢を熊野筆の柄として再資源化する資源循環の環境学習を牛久保小学校(都筑区)で実施しました。

令和8年度は本取組をさらに広げ、複数の小学校で実施します。この度、令和8年度の第1弾として、横浜市すみれが丘小学校(都筑区)で授業を実施します。

1 取組の概要

本取組では、回収を呼びかけて集まったプラスチック鉢を子どもたちが自ら洗浄し、リサイクル業者に引き渡します。その後、プラスチック鉢は筆の柄として再資源化され、熊野筆として子どもたちの手元に届けられます。「回収→再生→利用」という一連の資源循環に触れ、さらにはサーキュラーエコノミーについても学ぶことで、環境配慮行動のきっかけづくりを目指しています。

なお、本取組は、PHI 株式会社から横浜市資源循環推進プラットフォームに提案をいただいたことをきっかけに令和7年度から実施しており、本取組により製造した熊野筆については、横浜グリーンエキスポでの活用も検討しています。



2 すみれが丘小学校での授業実施

すみれが丘小学校での第1回授業を以下のとおり実施します。

- ・日 時：7月2日(木) 10時35分～12時5分
- ・場 所：横浜市すみれが丘小学校(都筑区すみれが丘34)
- ・内容(予定)：資源循環に関する説明、プラスチック鉢の洗浄

9月頃には第2回授業として、手元に届けられた熊野筆を用い大切な人へのメッセージを書くことで資源循環に身近に触れる体験やプラスチックの分別・資源化についての学習を実施予定です。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 市内小学校への展開拡大

令和8年度は、すみれが丘小学校に加え、現時点で以下の小学校での実施を予定しています。今後も順次展開し、資源循環に身近に触れることができる機会の創出を図っていきます

- ・横浜市鶴見小学校（鶴見区）：初回授業（予定）：7月16日
- ・横浜市牛久保小学校（都筑区）：実施時期調整中
- ・横浜市荏田南小学校（都筑区）：実施時期調整中

4 取材申込

授業実施の2日前までに、資源循環局事業系廃棄物対策課へメールでお申し込みください。

◆送付先：sj-genryokikaku@city.yokohama.lg.jp

※メールの件名は「【取材依頼】子どもたちが資源循環を体感する環境学習について」としてください。

※メール本文には、①媒体名／②担当者名／③取材希望内容（撮影、インタビュー等）／

④交通手段（車の場合、台数も記載）／⑤人数／⑥連絡先 をご記載ください。

【参考1】横浜市資源循環推進プラットフォーム

令和6年10月に、市内の廃棄物処理業者7社が中心となり発足しました。

このプラットフォームでは、主に市内での動脈産業と静脈産業が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させることで本市の資源循環施策を推進することを目的としています。横浜市は、プラットフォーム幹事企業7社との連携協定に基づき運営等を支援し、公民一体での議論・取組を進めています。



【参考2】PHI 株式会社

産官学連携によるサーキュラーエコノミーシステムの推進、関連インフラの構築、環境教育に関する学習コンテンツの開発、製造・販売、アップサイクル製品の企画・開発などを行っています。 PHI 株式会社ホームページ：<http://www.phi-gr.com/>



お問い合わせ先

（取組全体に関すること）

資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長 金田 Tel 045-671-2558

（PHI 株式会社に関すること）

PHI 株式会社 CEO 繁田 <https://forms.gle/kivUSoopggQfGvDl6>



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

